「分科学会・部門による理学療法教育情報ネットワークの活用」

11 月 24 日（土）　9：30～11：00

会場：第１会場（4 階クラインホール）

日本運動器理学療法学会運営幹事

横山　茂樹

日本神経理学療法学会運営幹事

松田　淳子

日本地域理学療法学会・日本支援工学理学療法学会運営幹事

鈴木　英樹

日本理学療法教育学会常任運営幹事

酒井　吉仁

司会

熊本駅前看護リハビリテーション学院

松本　泉

「分科学会・部門により
理学療法教育情報ネットワークの活用」

【講師略歴】

専門分野： 運動器理学療法　　氏　　名： 横山　茂樹
所　　属： 京都橘大学　　活 動 歴： 日本運動器理学療法学会運営幹事

【講師略歴】

専門分野： 神経理学療法　　氏　　名： 松田　淳子
所　　属： 大阪行岡医療大学　　活 動 歴： 日本神経理学療法学会運営幹事

【講師略歴】

専門分野： 地域理学療法, 生活環境支援　　氏　　名： 鈴木　英樹
所　　属： 北海道医療大学リハビリテーション科学部
活 動 歴： 日本地域理学療法学会運営幹事
日本支援工学理学療法学会運営幹事

【講演要旨】

本事業は、平成 30 年より「理学療法教育情報ネットワーク事業」として理学療法教育に関する情報を分科学会・部門間で交換・共有するため、各学会・部門担当者と WEB 会議、対面会議を行い理学療法教育の更なる向上を目指して活動を行っている。

現代社会のニーズに合った医療・福祉・保健分野でおいて質の担保された適切な理学療法を提供するため、このネットワークを利用して「理学療法教育とは何か」について分科学会・部門間で検討し、協会における教育システムの体系化に役立てることを目的としている。

理学療法教育は卒前教育である学内教育（養成校教育）と学外教育（臨床実習）を基盤とし、免許取得後は卒後教育として新人から中堅管理者に至るまで、生涯継続した学修について体系化され、自己研鑽する機会の活用が必要である。各会員は理学療法教育について主体的考え、相互に情報交換・情報共有が必要であると考える。この議論や情報の共有には、分科学会・部門が担当する専門領域において必要とされる理学療法教育の目標や方法論について、具体的な内容を提示し、各々が推し進めている教育の実状と課題の情報集約をする窓口が必要であり。この窓口が「教育情報ネットワーク」であり、会員をはじめ広く国民からも必要な情報を集約・提供すべき役割を担うと考えている。

今回のシンポジウムにおいては理学療法士として第一歩を踏み出したときに出会う疾患を想定し、関与する主たる学会の日本神経理学療法学会、日本運動器理学療法学会、日本地域理学療法学会、日本理学療法教育学会をシンポジストとしてご登壇頂きこれからの理学療法教育に向けた教育情報ネットワークの活用に向けて各学会のご発言をいただく。またフロアーから他の学会・部門のアンケート調査に寄せられた内容からからご発言をいただき理学療法教育に向けた教育情報ネットワークの活用を考えたい。（文責　松本泉）